

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 8 - 66

1 事務事業の表示

: 該当

| | | | | | | | |
|-----------------|--|-----------------------|----------|----------|---|----------|------|
| 事務事業名 | | オホーツクサイクリング事業 | | | | | |
| 評価者 | 担当課名 | 産業振興課 | | 担当係名 | | 商工観光係 | |
| | 管理職 | 職名 | 課長 | | 作成者 | 職名 | 係長 |
| | | 氏名 | 石井弘道 | | | 氏名 | 齋藤康志 |
| 事業の概要 | オホーツク沿岸の市町村等で構成される実行委員会により開催され、当町から斜里町までの212kmを2日間で走破するイベントである。 当町では出発前日に行われる前夜祭においては、官民一体となった「おもてなしの心」でサイクリストを歓迎する事業を実施している。 | | | | 全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 14,500 千円 事業費計 14,500 千円 | | |
| 実施方法 | 直営 | 民間委託 | | その他 () | | | |
| 第 5 期 総合計画 (前期) | | 登載事業 | | 非登載事業 | 優先度 | B | |
| 事業の位置付け | 政策目標 | 1 はつらつ・雄武 ~ 地域産業の振興 ~ | | | | | |
| | 基本施策 | 5 観光の振興 | | | | | |
| | 単位施策 | 3 おもてなし力の強化 | | | | | |
| | 事務事業の種類 | 自治事務 | | 法定受託事務 | | | |
| | その他計画・根拠等 | | | | | | |
| 事業費 | 実施年度 | 20年度(実績) | 21年度(実績) | 22年度(見込) | 23年度(計画) | 24年度(計画) | |
| | 国・道支出金 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| | 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| | その他財源 | 2 千円 | 955 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | |
| | 雄武町負担額 (一般財源) | 2,748 千円 | 2,423 千円 | 2,900 千円 | 2,900 千円 | 2,900 千円 | |
| | 合計 | 2,750 千円 | 3,378 千円 | 2,900 千円 | 2,900 千円 | 2,900 千円 | |

153

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

| | | | | | |
|----------------------------------|--|---------------------------------|----------|------------|--|
| 【誰、何が(対象)】 | サイクリスト | 望ましい指標 (目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) | | | |
| 【抱える課題やニーズは】 | 21年度で28回目を数え、新鮮味が薄れて、参加者数が減少している。参加費の軽減も検討事項である。 | 参加者数 | | | |
| | | 指標 (指標計算式 / 解説) | 目標値及び実績値 | | |
| 【どのような状態になることを目指したのか(意図)】 | オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。 | 実施回数 | 目標年度 | 平成21年度 | |
| | | | 目標値 | 1 回 | |
| | | | 実績値 | 1 回 | |
| | | | 達成度 | 100.0 % | |
| 【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的 | 開催当初レベルの参加者の確保、雄武町のPR | 参加者数 | 目標年度 | 平成21年度 | |
| | | | 目標値 | 1,500 人 | |
| | | | 実績値 | 848 人 | |
| | | | 達成度 | 56.53333 % | |
| 内 容(どのような手段で何を行ったか) | | | | | |
| 実行委員会への負担金支出 | オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出 | | | | |
| 前夜祭実行委員会への補助 | オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付 | | | | |
| | | | | | |

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

| | | |
|------------------------|--|--|
| 必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり | <input type="checkbox"/> 義務的なもの | 町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、町民の理解を得ているものと判断する。 |
| | <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部 | |

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

| | | |
|------------------------|--|---|
| 有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり | 設定した目標値の達成状況 | 本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも有効と判断する。 |
| | <input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る | |

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

| | | |
|---------------------------|---|---|
| 効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり | 判断の理由 | 近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、発注品単価の抑制等を実施しており、効率的と判断する。ただし、参加料の軽減等を含め、今後の継続実施に向けた総括的な検証が必要である。 |
| | <input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他 | |

(4)事務事業の公平性

| | | |
|---------------------------|---|---|
| 概ね公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない | 判断の理由 | 当町からの参加者は毎年30人程度だが、町を挙げての一大イベントとして定着しており、町民の理解を得られているものと判断する。 |
| | <input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他 | |

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

| 自己評価(一次評価) | 評価会議評価(二次評価) | 町長評価(三次評価) |
|---|--------------|------------|
| A | | |
| 参加者は減少傾向にあるものの、リピーターが多く根強い支持を得ている。町民にも定着しており、開催について理解を得られている。 | | |



| | | |
|--|--|--|
| 継続 / 現状維持 | | |
| 参加者が減少傾向にあるにも関わらず、これまで実施できた背景には参加者のニーズが高いことが挙げられる。今後の継続実施に向けた総括的な検証を行った上で、継続実施する必要がある。 | | |

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

| |
|--|
| |
|--|